

## あとがき

延岡市は、市制施行八十周年記念事業の一つとして、「延岡市史 市制八十周年記念十年史」の発刊を企画した。それに基づき、平成二十四年一月と四月に市史編さん委員六人が委嘱され、市史編さん室はカルチャープラザのべおかの二階に設けられた。この延岡市史（八十年史）は、これまでの歩みをできるだけけつまびらかにして、今後の市勢の発展に資するという原則に立った。七十年史（平成十五年刊）以降の一〇年間の経緯を内容とするとともに、この間の資料の散逸を防ぎ後世に残すことを目的とし、発刊は平成二十五年五月を目標とした。

八十年史は市勢を表す十年史である。まず、編さん委員が認識を深め共通理解を図ることから出発した。そのため各部長・支所長講話の開催や提出資料の検討、これまでの延岡市史の熟読、先輩編さん委員の記録やアドバイスを参考とすることなどに力を注いだ。この成果の上に資料収集・原稿執筆に移った。「市史」としての特質を備え持つ冊子とするために、市当局との協力態勢を築き、資料や原稿が委員と行政・関係機関との間を行き交い、その度に資料や原稿の精度が増し、より客観的な内容となって完成に近づいていくという方法を、編さんの基本姿勢として位置づけることにした。

八十年史の編さんの方針は、七十年史を基にして七十年史の続編として、また、北方町・北浦町・北川町との合併に伴い新延岡市として発展していく姿を編さんしていくことである。そのため、八十年史の市史執筆上の基本的留意事項は、前史の留意事項に従うことにした。即ち、次の四項目である。

- 一、七十年史以降の業績を客観的にしかもの確に把握して、十分に保存し後世に伝える。
- 二、読みやすく親しみのあるものにするため、分かりやすい文章にし、図表や資料・写真を多くする。
- 三、執筆・編さんの共通理解を深め、意思の疎通を図って、市史としての整合性にも留意する。
- 四、過去一〇年間の市史であるが、これまでの延岡市史との関連及び旧三町の歩みも考慮し、通史的な側面も若干加味する。

この四項目を当初から掲げ、先輩編さん委員の意図をたどりつつ、編さん委員の協議・運営や事務局との連携等に活用して、委員相互の共通理解を深め意識の統一を図ってきた。

編さん委員は七十年史や「八十年史の構成案」を基本としながら、更に広い分野に意を配り時代の変遷に即応できるように配慮するなど懸命の努力をしてきた。編さん委員の、市史として後世に伝えていくことを責務とする自覚的行動にも支えられ、編さん作業は比較的順調に進んだ。ここによく発刊することができ、感慨ひとしおである。ただ、充実した八十年史とすべく万全を期したつもりであるが、行き届かぬ面もあるうかと思われるので、大方のご叱正により、今後の発刊の機会に活かしていただければと願っている。

最後に、延岡市史編さんに当たっては、各種参考文献・刊行物・諸資料・新聞・写真・その他、市内外の多くの方々が快く提供してくださるなど、積極的なご協力を賜った。ここに改めて心からの感謝とお礼を申し上げて結びのことばとしたい。

延岡市史編さん室

## 編さんの組織

### 延岡市史編さん委員

(平成二十四年一月十日から)

南津 辰雄 総括、年表・その他

牧野 義英 行財政、市内の官公庁

佐々木敏男 生活環境・医療

甲斐久美雄 産業経済(商工業、観光等)

(平成二十四年四月六日から)

九鬼 勉 自然・歴史、教育・文化

甲斐 政二 社会福祉、産業経済(農林水産業)

### 延岡市史編さん事務局

総務部総務課

# 延岡市史

市制八十周年  
記念十年史

平成二十五年五月一日発行

編集 延岡市史編さん室  
発行 延岡市

延岡市東本小路二一

製作 株式会社ながと

延岡市出北四丁目二四七九